

第3回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会
議事概要

開催日時：令和5年7月18日（火） 13時30分～16時30分
オンライン開催

出席委員：稲葉委員長、水ノ江委員、根岸委員、石崎委員、森委員、西村委員

出席者：文化庁文化資源活用課鈴木調査官
縄文遺跡群世界遺産協議会広域委員・管理委員

概要：

1. 開会
2. 報告事項
 - (1) 保存活用推進行動計画の策定について【資料1】

事務局から説明後、委員から意見・助言。

 - 資料1の図1の定期報告の時期について、コロナの影響もあって、2027年、2028年よりも先になる見込み。
 - 第5章の「第2節 資産周辺の保全」について、緩衝地帯の保全の検討は必要なため、資産、緩衝地帯、その周辺というように定義してやっていくのはどうかと思う。
 - 各構成資産で設定された視点場について、現地では読み取れないため、視点場を明示化し、緩衝地帯やその外側の保全につなげていくようお願いしたい。
 - 視点場からみた視覚的な影響評価は、遺産影響評価の重要な部分を占めるため、それを明確化しておいたほうがいいと思う。それを第5章第2節で説明するか、包括的保存管理計画の中に書き込むかを含めて、事務局で御検討いただきたい。
 - (2) 遺産影響評価の取組状況について ※以降、非公開
3. 意見交換
遺産影響評価の運用方法・体制の検討について
4. その他
5. 閉会

以上